



にじいろ

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

「防災の日を前に思うこと」

1 学年主任 小澤 春美

夏休みが終わり、昨日より授業が再開しました。夏休みは充実した時間を過ごせたでしょうか。今日からまた、学習に、部活動に、課外活動に全力で取り組んでいきましょう。私たち教職員は、引き続き、前向きに頑張る、キラキラした皆さんを全力で応援します！

さて、この夏は、7月末に熊本で大地震が発生し、尊い命が失われました。また、最近では千葉県で豪雨災害が発生し、連日その被害状況が報道されています。これらの災害は決して他人事ではありません。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。どのような災害が発生しても自分の命を守るよう、日頃から備えをしておくことが大切です。

かつて(1組担任の土屋先生が高校生だった頃)この甲府東高校も浸水被害に遭ったそうです。また、今から100年以上前になりますが、「関東大震災」と呼ばれる大地震が発生し、山梨県でも大きな揺れが観測されました。発生時刻が正午前であったため、昼食の準備で火を使っていた家庭も多く、各地で大規模な火災が発生し、この地震により10万人を超える犠牲者が出たと記録されています。

その関東大震災が発生した9月1日は「防災の日」と定められており、本校でも毎年9月に避難訓練を実施しています。ぜひご家族と、災害時の連絡手段や集合場所について確認しておいてください。また、登下校時の危険箇所について、友人と一緒に確認してみてください。出かけた先でも避難経路を確認する習慣をつけましょう。さらに、自宅には非常食や非常用持ち出し袋を準備しておきましょう。

どのような状況であっても身の安全を確保できるよう、一人ひとりが防災意識を高く持つことが大切です。学校でも9月中に予告なしの避難訓練を実施する予定です。大地震が起きた場合を想定し、迅速かつ冷静に避難行動がとれるようお願いします。

毎日無事に登校でき、学べることに感謝しながら、また明日から元気いっぱいの1年生らしく頑張っていきましょう。毎日、学校で待っています！

【9月の主な行事予定】

9月3日(木)～8日(火) 第2回定期試験

9日(水) 成績処理日(家庭学習日)

11日(金) ④答案返却

12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日) 中学生対象部活動見学会・体験会

16日(水) 登校時マナーアップ運動

17日(木) ▲上カセット

18日(金) スタディーサポート

第2回バイク通学者説明会(放課後)

24日(木) 運動会

25日(金) 第2回進路希望調査

26日(土) 土曜活用事業(1・2年)、駿台記述模試(希望者)

29日(火) 運動会(予備日)

30日(水) ⑦納め式・生徒会役員認証式・生徒会役員交代式・前期終業式



【1 学年リレー通信】

「黒部ダム」

5組担任 上原 章史

皆さんは高校生活最初の夏休みをどのように過ごしましたか。学習会や課外、模試のほか、部活動、オープンキャンパスや奉仕活動などに参加した人もいるでしょう。これまで経験したことのないようなことにチャレンジして、悪戦苦闘・試行錯誤しながらひと回りもふた回りも成長して、充実した夏休みになっていれば幸いです。

私の今年の夏休みは、東高校に着任して8年目にして初めて黒部ダムの見学に行くことが出来ました。地理の教員としてずーっと行きたかったのですが、何故か都合がつかず、ご縁がありませんでした。今年は都合が付き、やっと引率教員として参加することが出来ました。実は子どもの頃に3回ほど黒部ダムに行ったことはあるのですが、ただそのダムの堰堤の高さと大きさに驚くぐらいで、その背景については知る由もありませんでした。

（ここからは地理マニアのうんちくです）

黒部川の上流部にあたる黒部峡谷は国内有数のV字谷（詳しくは地理総合の授業で...）が発達したところで、川底の岩盤が硬いことや北アルプスを水源として雪解けによる水量が多いことなどからダム建設には適地でした。ただ急崖が続く峡谷の奥に建設資材を運ぶのは困難であり、何回もダム建設計画が頓挫しました。そこで白馬連峰を貫く最短経路の大町ルート（今回通ったところ）を資材輸送路として計画、1956（昭和31）年にまずは資材運搬のためのトンネル工事が始めたのですが、そこでも大きな壁が立ちはだかりました。大量の地下水を含んだ軟弱な地層「破砕帯」の出現です。掘削しても土砂が崩れ、なかなか前に進むことはできませんでしたが、技師の方たちの諦めない気持ち、うまくいかなくても別の工法を試すなど持てる知識と経験を集結して、80mの破砕帯を7か月の苦闘の末に突破しました。その後大町ルートのトンネルが貫通して黒部峡谷に資材が送られ、トンネル開削から7年後の1963（昭和38）年に黒部ダムは完成しました。以降、ここで発電した電力は主に電力不足に悩んでいた関西地方を中心に送られ、その後の高度経済成長を支えました。私たちが何気なく生活している背景には、先人の方たちの苦労があるのです。今回、久しぶりに黒部ダムの壮大な堰堤を見ながら、改めて困難に立ち向かう気持ちの大切さを強く感じました。

皆さんはどうでしょうか。これから多くの困難に直面すると思います。やってもうまくいかない、もう無理だとすぐに諦めてしまう、のではなく、どのようにすればうまくいくのか、みんなで協力して克服する、などみんなで試行錯誤しながらこれからの高校生活を送ってください。きっと黒部ダムのような大きく立派な学校になっていくと思います。甲府東高校の先輩方が築いてきたこれまでの50年を大切に引き継ぎ、これからの50年をみんなで築いていきましょう！

